

市の行政コスト計算書

— 行政サービスに係るコストはいくら？ —

行政コストとは、人的サービス、給付サービスなど資産形成につながらない資源を消費する行政サービスに係る費用のことです。また、通常の決算は、支出だけをまとめていますが、行政コスト計算書は建物などの施設の消耗を表す減価償却（約 30 億 9,000 万円）もコストとして計上しています。

平成 18 年度 市民 1 人当たりの行政コスト
▼
29 万 3,000 円（前年度 28 万 6,000 円）

問合せ 財政室 ☎ 995-1801

普通会計の行政コスト計算書（損益計算書）

平成 19 年 3 月 31 日現在（単位：円）

項 目		平成 17 年度	平成 18 年度	増 減	18 年度の市民 1 人当たり
費用	人に係るコスト	36 億	36 億 4,000 万	4,000 万	6 万 9,000
	物に係るコスト	64 億 1,000 万	65 億 4,000 万	1 億 3,000 万	12 万 3,000
	移転支出的なコスト	44 億 6,000 万	48 億 7,000 万	4 億 1,000 万	9 万 2,000
	そのほかのコスト	5 億 1,000 万	4 億 9,000 万	△ 2,000 万	9,000
	合 計 (A)	149 億 8,000 万	155 億 4,000 万	5 億 6,000 万	29 万 3,000
収入	充当財源	25 億 4,000 万	26 億 5,000 万	1 億 1,000 万	△はマイナス
	一般財源	141 億 4,000 万	146 億 9,000 万	5 億 5,000 万	
	国・県支出金償却額	4 億 4,000 万	4 億 6,000 万	2,000 万	
	合 計 (B)	171 億 2,000 万	178 億	6 億 8,000 万	
差引一般財源増加額 (B - A)		21 億 4,000 万	22 億 6,000 万	1 億 2,000 万	

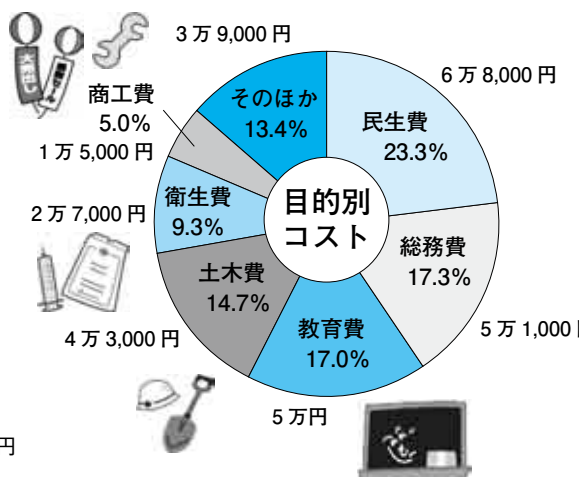
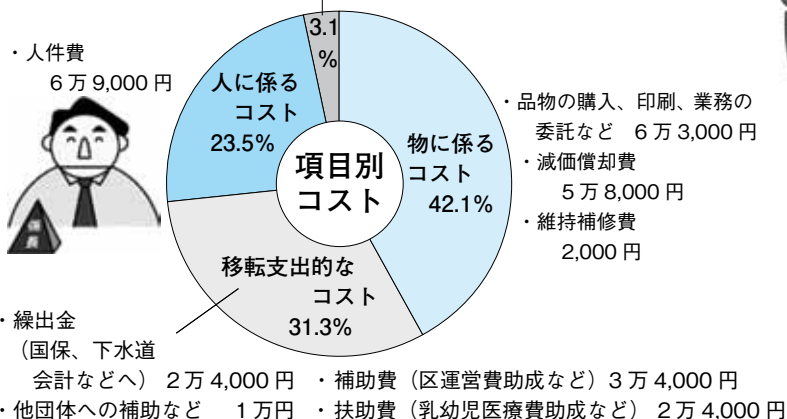
※この行政コスト計算書は、国（総務省）が示した作成基準に沿って作成しました。

市民 1 人当たりの項目別コスト

市民 1 人当たりの目的別コスト

そのほかのコスト

・償還金利息 7,000 円 ・不納欠損額 2,000 円



市のバランスシート

— 市の資産と負債はどれくらい？ —

バランスシートとは、一般に民間企業の会計で使われているもので、土地、建物など現在まで整備された資産と借金などの負債の状況をまとめたものです。

平成 18 年度 市民 1 人当たりの資産
219 万 4,000 円 (前年度 216 万 9,000 円)

平成 18 年度 市民 1 人当たりの負債
56 万 9,000 円 (前年度 58 万 6,000 円)

市全体のバランスシート (貸借対照表) 平成 19 年 3 月 31 日現在 (単位:円)

借 方		貸 方	
有形固定資産	学校、道路、橋、市庁舎など (市民1人当たり)	負債	(市民1人当たり)
(普通会計) 808 億 2,000 万	152 万 4,000	借入金 (市債)	(市民1人当たり)
(公営事業会計) 180 億 8,000 万	34 万 1,000	(普通会計) 167 億 1,000 万	31 万 5,000
計 989 億	186 万 5,000	(公営事業会計) 88 億 9,000 万	16 万 8,000
		計 256 億	48 万 3,000
投資的資産	基金 (固定的なもの)、出資金 (市民1人当たり)	退職給与引当金	(市民1人当たり)
(普通会計) 48 億 9,000 万	9 万 2,000	(普通会計) 41 億 9,000 万	7 万 9,000
(公営事業会計) 19 億 6,000 万	3 万 7,000	(公営事業会計) 3 億 7,000 万	7,000
計 68 億 5,000 万	12 万 9,000	計 45 億 6,000 万	8 万 6,000
流動的資産	現金預金、基金 (現金化が容易なもの)、未収金 (税など) (市民1人当たり)	負債計	(市民1人当たり)
(普通会計) 85 億 9,000 万	16 万 2,000	(普通会計) 209 億	39 万 4,000
(公営事業会計) 20 億 2,000 万	3 万 8,000	(公営事業会計) 92 億 6,000 万	17 万 5,000
計 106 億 1,000 万	20 万	計 301 億 6,000 万	56 万 9,000
資産合計	(市民1人当たり)	正味資産	国、県の補助金、資産形成に使った一般財源 (市民1人当たり)
(普通会計) 943 億	177 万 8,000	(普通会計) 734 億	138 万 4,000
(公営事業会計) 220 億 6,000 万	41 万 6,000	(公営事業会計) 128 億	24 万 1,000
総計 1,163 億 6,000 万	219 万 4,000	計 862 億	162 万 5,000
		負債、正味資産合計	(市民1人当たり)
		(普通会計) 943 億	177 万 8,000
		(公営事業会計) 220 億 6,000 万	41 万 6,000
		総計 1,163 億 6,000 万	219 万 4,000

学校、道路など建設的な事業に使われたお金の総額です。道路や建物の建設は減価償却をしています。土地は購入時の価格を計上しています。

関係団体への出資金や都市施設建設基金、社会福祉事業基金など、貯えているお金です。

現金や、必要とできるときすぐに現金にできる基金と、滞納されている市税などの総額です。

借入金は、今まで学校や道路などの建設に、市が銀行や国などから借入した残高です。


退職給与引当金は、市の職員が年度末に全員退職 (その年度末に退職した者を除く) した場合の退職金です。将来発生するものとして負債に計上します。

今まで学校や道路などを建設するために使ったお金のうち、国や県からの補助金と市の税金などの総額です。

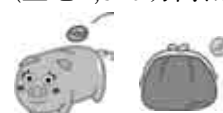
- ※このバランスシートは、国 (総務省) が示した作成基準に沿って作成しました。
- ※普通会計は、一般会計と土地取得特別会計で構成され、市の基本的な行政を行う会計です。
- ※公営事業会計は、水道事業会計と下水道事業、国民健康保険、老人保健、介護保険、十里木高原簡易水道の特別会計です。

資産とは？


バランスシートの項目にあるような施設の土地、建物や基金、現金などです。市民の皆さんにこれから提供する行政サービスの基になるものです。



土地付きマイホーム
4,870 万円
(土地 1,840 万円、家 3,030 万円)




定期預金 (教育資金・積立立て・株など)
290 万円



普通預金・現金など
510 万円

負債とは？

資産にあるような施設の整備のために借りた借入金の返済金や市職員の退職給与引当金 (現在の市職員が普通退職したと想定した場合に必要な退職金) です。今後返済が必要で市民の皆さんが負担するものです。



マイホームローン
残高 1,260 万円

☆バランスシート (普通会計) を平均的な 4 人家族の会計に例えたものです。
☆分かりやすくするため、市民 1 人当たりの金額を 8 倍してあります。